

海と経済活動との共存共栄を目指す フィッシャーマンジャパンブルーファンド年次報告書



2024年10月

ミュージックセキュリティーズ株式会社
一般社団法人フィッシャーマン・ジャパン

©MusicSecurities,inc all right reserved.

1. はじめに

一般社団法人フィッシャーマン・ジャパンとミュージックセキュリティーズ株式会社は、2022年3月14日にインパクト投資ファンド「フィッシャーマンジャパン・ブルーファンド」（以下、ブルーファンド）の設立を宣言し、同5月には、日本で初めて国連「持続可能なブルーエコノミーファイナンスイニシアチブ」に加盟しました。そして、2023年12月までに 2件の投資と1件の寄付を実行しました。

本レポートでは、ブルーファンドについて、その設立趣意やブルーファイナンス原則に則ったそのビジョンや投資方針を明らかにし、投資先を紹介します。

<本レポートの構成>

1. はじめに
2. フィッシャーマンジャパンプルーファンドについて
3. ブルーファイナンス原則に則った特徴
 - 1) ビジョン
 - 2) セオリーオブチェンジ
 - 3) 社会的リターンについて
4. 投資スキームと投資実績
 - 1) 株式会社ベンナース
 - 2) 株式会社REMARE
5. おわりに

2. フィッシャーマンジャパンブルーファンドについて (1/2)

海の豊かさを守るための新しい仕組み

ブルーファンドは、海を守りながら利用することで経済や社会全体をサステナブル（持続可能）にする「ブルーエコノミー」の推進を目的とし、フィッシャーマン・ジャパンとミュージックセキュリティーズが立ち上げました。

それは、漁業団体とフィンテック企業が連携してつくった、海の豊かさを守るための新しい投資・寄付の仕組みです。

経済的なリターンの獲得だけでなく、投資を通じて社会的課題の解決を目指す「インパクト投資」を行います。海洋環境保全のための海のDX化、サステナブルな養殖エサの開発、海洋プラスチックの回収・リサイクル、海のサーキュラーエコノミーの実現、サステナブルシーフードの流通販売など、幅広い事業を投資対象とします。

また、ブルーエコノミーを牽引する企業への投資だけではなく、採算ベースには乗りにくい水産業の担い手育成事業や、水産業の枠にとどまらない、海に関する幅広い企業・事業が寄付の支援対象となります。

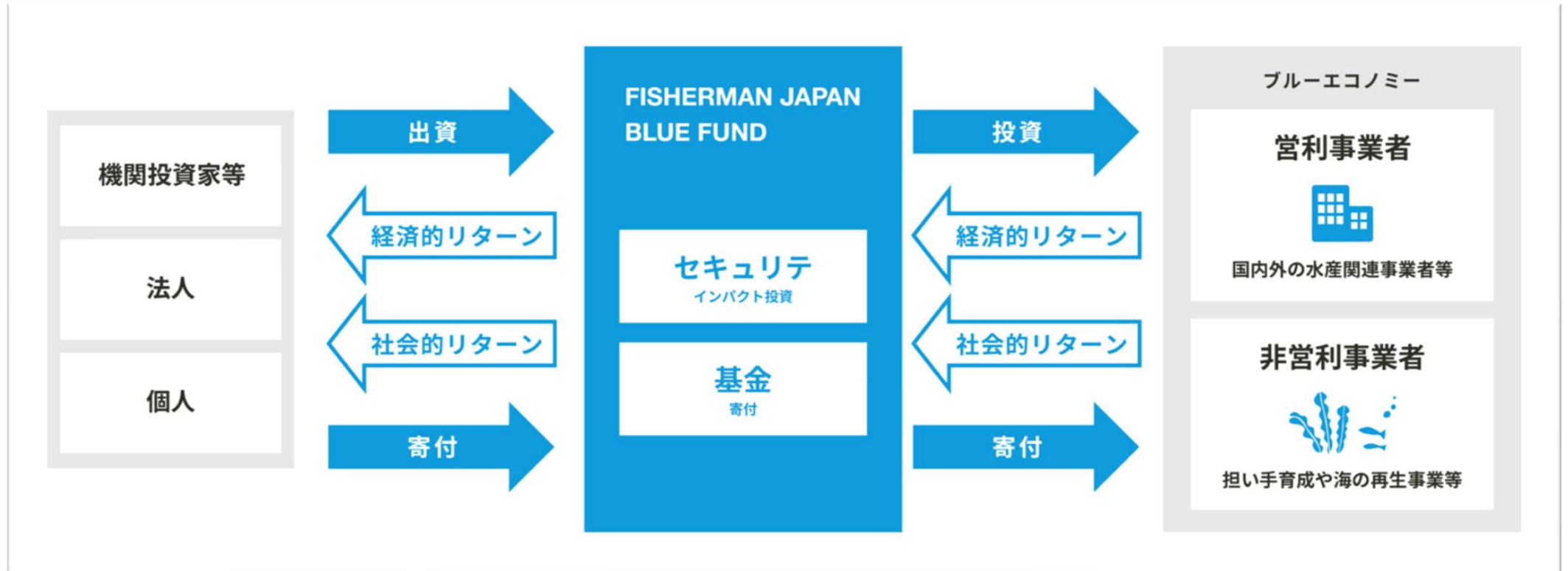
法人・個人からのインパクト投資により、海というフィールドにより多くの人を巻き込み、持続可能な水産業の実現と海洋環境の保全を両立するブルーエコノミーの推進を図ります。

※ブルーエコノミー：海を守りながら利用することで経済や社会全体をサステナブルに発展させていこうとする海洋産業のこと

※インパクト投資：従来の経済的なリターンの獲得に加え、投資を通じて社会的課題の解決

2. フィッシャーマンジャパンブルーファンドについて (1/2)

<全体像>



<投資対象>

水産業のみならず資源管理・海洋環境保全のための海のDX化、サステナブルな養殖エサの開発、海洋プラスチックの回収・リサイクル、海のサーキュラーエコノミーの実現、サステナブルシーフードの流通販売など、国内外の幅広い事業

<寄付対象>

短期的に収益が見込めないためこれまでボランティアや公金で行うことを余儀なくされていた水産業の担い手育成、ビーチクリーン、藻場再生（磯焼け対策、海藻移植）、サステナブルシーフードの普及・啓蒙など

3. ブルーファンドのビジョン（投資方針）

✓ 海と経済活動との共存共栄を目指す～Realizing Sustainable Blue Economy～

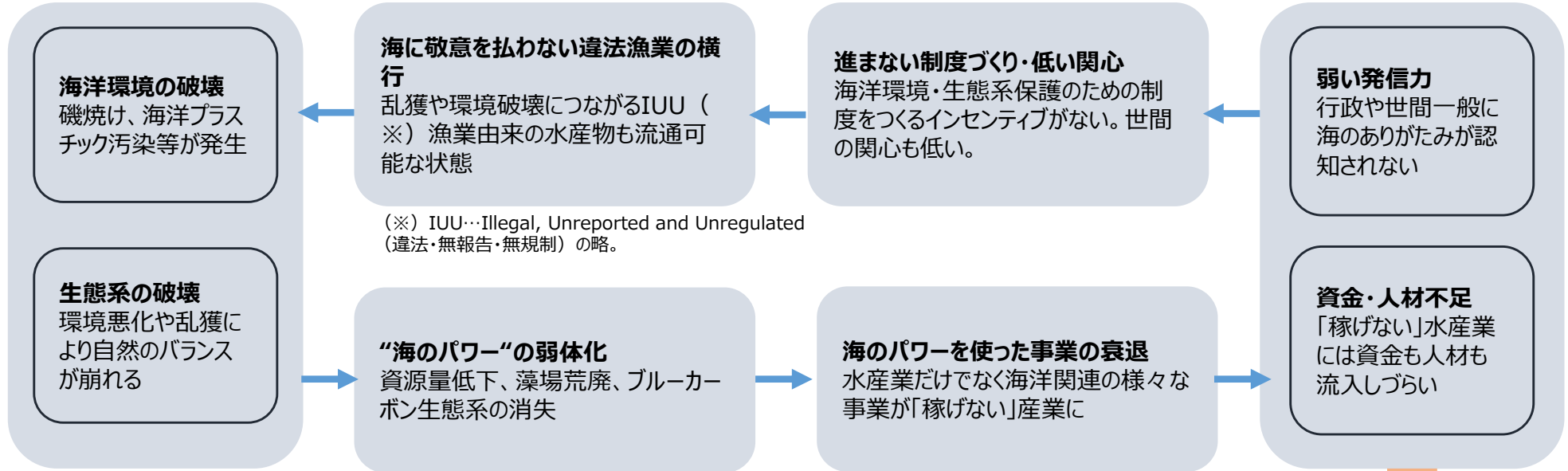
- 海を守り、海のパワーを引き出すビジネスへのブレンド・ファイナンスを通じ、人間と海の共存共栄モデルを実現する

✓ 重点領域

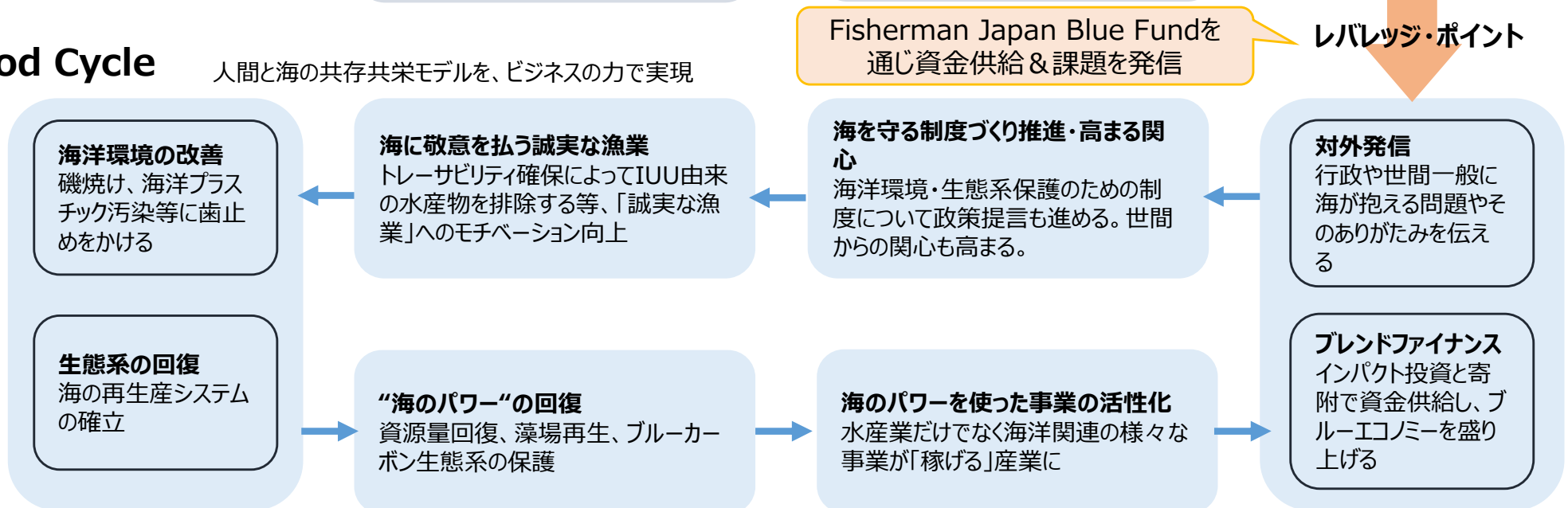
- 適切な資源管理に繋がる事業
 - サステナブルシーフードの開発・流通事業
 - 流通時のトレーサビリティ確保につながる水産テック事業
- 海洋環境を豊かにする事業
 - 藻場再生につながる事業
 - 海洋プラスチック汚染に歯止めをかけるリサイクル事業
- 海のパワーを活かして地球環境に貢献する事業
 - ブルーカーボン生態系保護による地球温暖化抑止につながる事業

3. ブルーファンドにおけるセオリー・オブ・チェンジ

Bad Cycle 人間の活動のせいで海の持続可能性が低下

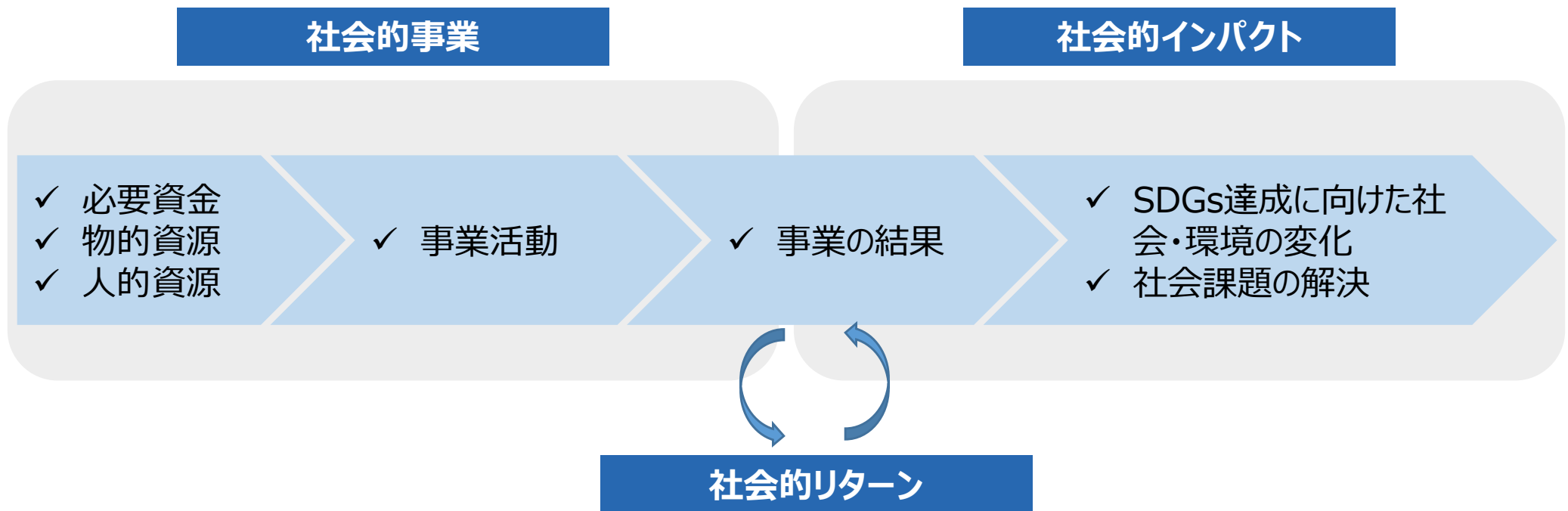


Good Cycle 人間と海の共存共栄モデルを、ビジネスの力で実現



3. 社会的リターンについて

- ブルーファンドではブルーファイナンス原則に則った投資を行うとともに、投資先は個別に社会的リターン指標を設定します。
- ここで定義する社会的リターンとは、当該事業活動の結果、SDGs達成や地域課題解決の為に、どのように貢献できたのかを具体的な数値で示したものです。
- 社会的リターンは、社会的インパクトを巻き起こすための具体的なステップであり、社会的インパクトを巻き起こすために事業者が具体的にどのような貢献をしたかを可視化します。

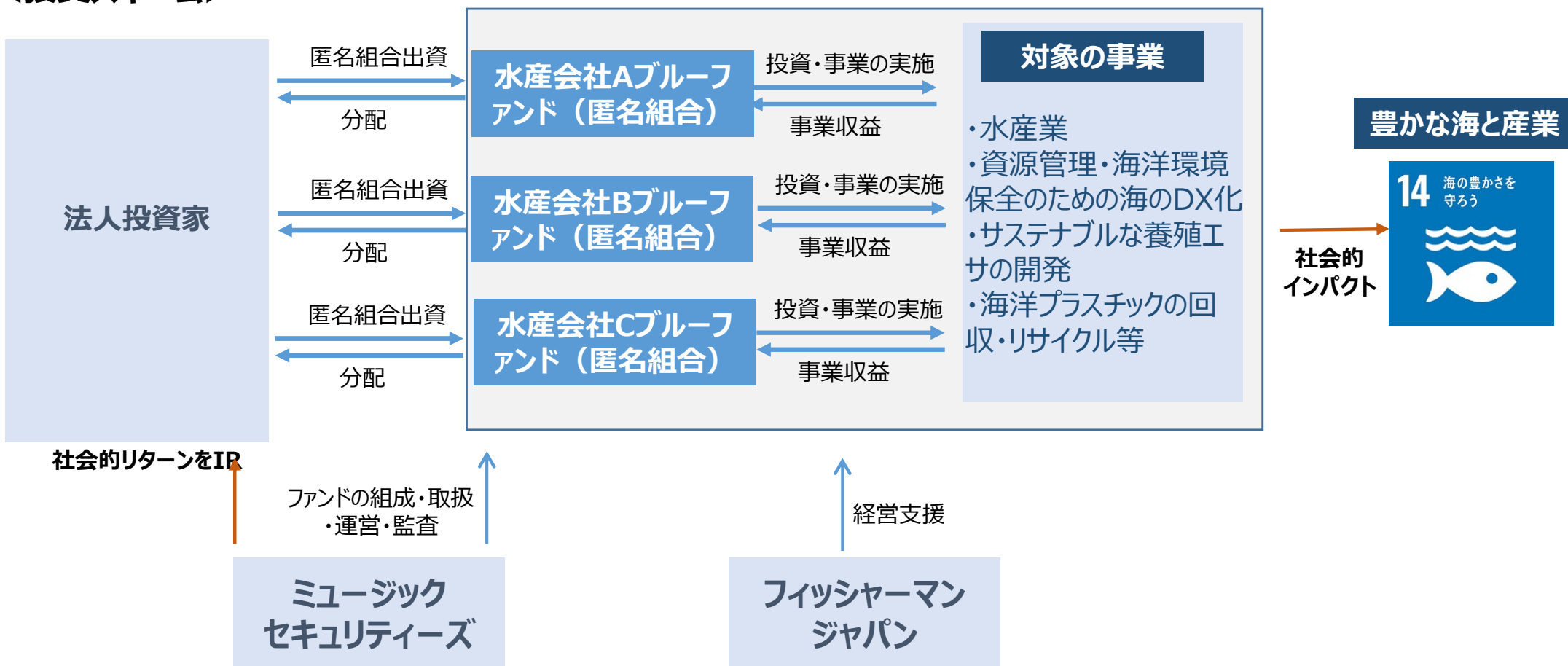


- ✓ 当該商品・サービス等による、社会・環境に対するポジティブな成果。
- ✓ 具体的な数値で示すことが求められる。
(例：施設に来場した障がい者の人数、CO2削減量 等)

4. 投資スキームと投資実績

- ✓ 投資スキームとしては、投資先の事業者を営業者とする匿名組合のファンドを組成。投資家は、議決権の無い匿名組合持ち分を取得し、そのリターンとして、一定期間の事業売上から分配金を受けとります。
- ✓ 今回、ブルーファンドに賛同する法人投資家から約1億円のコミットを得て、2事業者に対して、1号ファンド、2号ファンドを組成し、それぞれ3000万円の投資を実行しました。

<投資スキーム>



4-1) 株式会社ベンナーズ①

事業内容

株式会社ベンナーズは、サイズが不揃い、十分な水揚げ量がない等の理由で規格外として扱われる『未利用魚』を買い付け、加工して販売している企業です。

当社は、未利用魚の加工商品やミールキットをお届けするサブスクサービス『フィッシュル』のほか、法人向け加工商品も販売しています。

当社の事業は、フードロス削減に貢献する社会的な事業であり、多くのメディアに取り上げられた実績があります。

本ファンドの出資金は『フィッシュル』事業拡大のためにかかる仕入代や広告宣伝費として活用し、フィッシュル事業の売上を基に分配額が計算されます。

社会的リターン指標

1.未利用魚の有効活用重量の増加

未利用魚の有効活用が進むことで、フードロス削減という環境への効果だけでなく、漁師、産地への経済効果や、日本の魚食文化を守ることにつながります。ベンナーズは、未利用魚の取り扱い重量を独自に集計し、投資実行前の2023年7月までに魚種にして50種、重量にして累計67トンの未利用魚を活用しました。

「ベンナーズ フィッシュル事業ファンド」概要

募集金額	30,000,000円
資金使途	仕入代及び広告宣伝費
対象事業	未利用魚の加工品サブスク販売（フィッシュル）事業
会計期間	2023年11月1日～2028年10月31日



事業のポイント

- 高水温、乱獲、海洋環境の悪化によって国内の様々な水産物の水揚げが減る一方、サイズが不揃い、数量がまとまらない、あまり美味しくない、加工が大変などの理由で廃棄されたり二束三文で取引されている低利用魚が多数存在しています。
- 同社はそれら低利用魚を活用したミールキットを開発、拡販することにより漁師、産地の所得のアップを目指しています。
- そしてイズズミやアイゴと言った磯焼けを引き起こす食害魚もミールキットとしての商品化に成功しています。これまで費用をかけて駆除するしかなかった食害魚を経済合理性によって解決しようとしている同社の取り組みは、全国の漁村活性、藻場保全にからも大きく評価でき、調達資金によりベンナーズモデルの全国展開が加速することを期待しています。

4-2) 株式会社ベンナーズ②

事業者メッセージ

ブルーファンドを通じて調達した資金を活用し、人材の採用や広告宣伝活動を実施した結果昨年12月から売上1.5倍、フィッシュル製造地域も3カ所拡大しました。

現在は福岡市内の自社工場含めて全国10カ所の産地で水揚げされて未利用魚を活用し、フィッシュルを製造しています。また24年の4月には新規事業の海鮮丼専門店“玄海丼”を京都に開業し、こちらの事業も非常に順調に推移しております。

今後はフィッシュルと玄海丼の二つの事業を柱に、引き続き全国の未利用魚を有効活用してまいります。



4-2) 株式会社REMARE①

事業内容

株式会社REMARE（リマーレ）は、廃棄プラスチックを原料とした製品の製造・販売を行う企業です。

材質がバラバラで少ししかないプラスチックからでも商品を製造することができる独自の生成機を開発しました。現在は廃プラスチックを板状に加工して、空間デザイン会社等に販売する事業（複合材再資源化サービス）を中心にを行っています。

本ファンドの出資金は、漁具を中心とするプラスチック廃棄物を回収してアップサイクル素材（ポリエチレン・ナイロン）へと加工し、メーカー向けに販売する新事業を開始するために必要な加工設備の購入費用として活用し、すべての事業の売上を基に分配金が計算されます。

「REMARE応援ファンド」概要

募集金額	30,000,000円
資金使途	廃棄プラスチック加工設備取得代
対象事業	漁具等のプラスチック廃材を利用して製造した製品等の販売事業（すべての事業）
会計期間	ファンド資金を使用して購入した設備稼働開始日の翌月1日～5年間

REMARE



©MusicSecurities, Inc all right reserved.

社会的リターン指標

1.再生した海洋プラスチックの販売重量

リマーレは、米国に拠点を置くカーボンクレジット認証機関Verraのプラスチック廃棄物削減プログラムに登録しており、今後、リマーレが回収し、再生、販売したプラスチック量は、適切な方法で確認、評価され、その量に応じて民間認証クレジットが発行される予定です。

2.漁師の産廃処理費用の削減額

残念ながら、古くなった漁具等の処理費用が高額なことが、不法投棄につながっている面があります。リマーレは、こうした廃棄物を漁師から買い取ることで不法投棄を減らし、環境への負荷を減らすと同時に、産廃処理費用という漁師にとっての金銭的な負担を減じます。

事業のポイント

- 海洋プラスチックは海洋環境保全を進める上で世界的に重要な課題となっていますが、現在は回収した海洋プラスチックは焼却処分やアクセサリや文具等へのリサイクルがほとんどです。一方同社はこれまで費用をかけて処理していた海洋プラスチックを有価物として買い取り、ベニヤ板大の板材に加工してアパレルブランドへ店内什器として販売しています。
- 『小さいアクセサリや文具はいずれまたゴミになる、板材にすることで海洋プラスチックを空間に貯留し、必要なくなればまた何度もリサイクルする』ことを掲げ、経済合理性によって海洋プラスチック問題に事業として取り組んでいます。同社の取り組みは海洋プラスチック処理費用が捻出できない全国の漁村へも拡大していけると評価でき、資金調達により海洋プラスチックの回収・リサイクルの全国展開が加速することを期待しています。

4-2) 株式会社REMARE②

事業者メッセージ

ブルーファンドからの投資を受け、当社は持続可能な海洋プラスチックの再生プロジェクトを推進しています。現在、設備の導入はまだですが、ファンド資金を活用して以下の取り組みを進めています。

①再生プラスチックの販売トン数の増加：回収した海洋プラスチックの量は前年比20倍（100トン）増加しました。これにより、焼却時と比較すると約300トン-CO2/kwh削減効果があります。

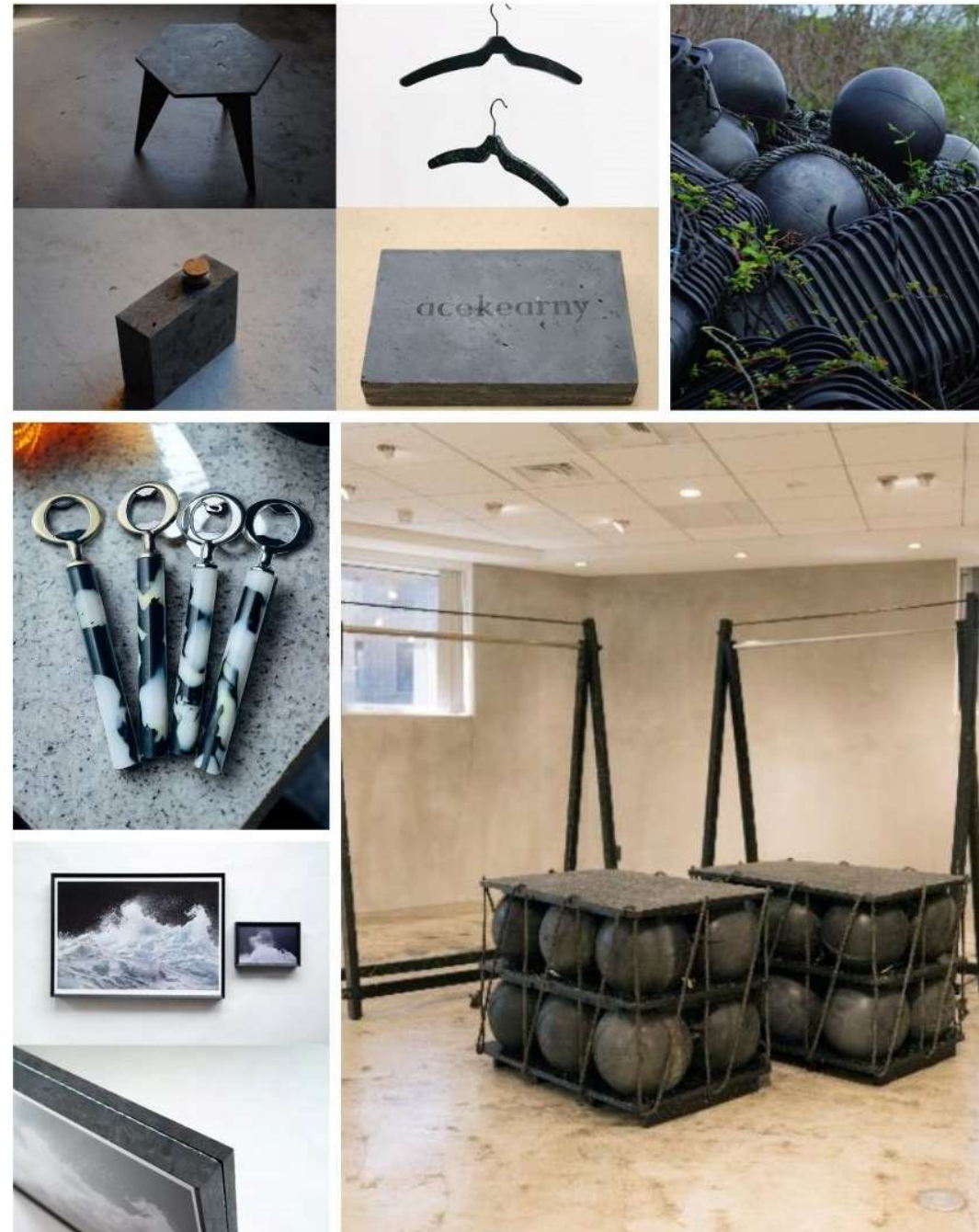
②漁師の産廃処理費用の削減：漁師の産廃処理費用は、集積場の拡張（300平米）により50トンの漁具の再資源化を行いました。産廃費用の削減効果は700万円（1kg140円換算）。これにより、漁業者の経済的負担が軽減されています。これらの成果は、ブルーファンドの支援のおかげで実現できたものであり、今後も持続可能な社会の実現に向けて努力を続けてまいります。

再資源化素材

板材
ペレット

主な活用方法

空間デザイン
オフィス家具
プロダクト開発



5. おわりに

2022年5月、私たちは、日本の組織としては初めて、国連環境計画・金融イニシアティブ(UNEP FI)の「Sustainable Blue Economy Finance Initiative (持続可能なブルーエコノミーファイナンスイニシアチブ、以下「ブルーファイナンスイニシアチブ」と言います)」に加盟しました。

ブルーファンドの立上げに際しては、ブルーファイナンス原則に則った独自の投資基準を策定することから始めました。経済的なリターンだけではなく、社会的なリターンも重視し、「目標14：海の豊かさを守ろう」を始めとするSDGsの達成に貢献することを目指してきました。

それから2年が経過し、私たちのファンドに共感頂いた投資家と出会い、ブルーエコノミーをけん引する素晴らしい事業者2社に投資を実行できたことを大変嬉しく思います。

しかし、私たちの周囲には、他にもブルーファンドからの出資を受けるのにふさわしい事業者が存在しており、私たちの計画では、より多くの事業者に、より多くの資金を供給することを目指しています。

今後は、新たな投資家を見つけることに加え、この投資先2社の事業に伴走し、事業によるインパクトを最大化することで、国内におけるブルーエコノミー推進のモデルケースをつくり、ブルーファンドの普及・拡大により一層、努めてまいります。

一般社団法人フィッシャーマン・ジャパン
ミュージックセキュリティーズ株式会社

